

支援学生の声

法文学部 中須賀 月香

私は3年前期の8月から、4年前期の4月末までフランスのリヨン第三大学に留学しました。

この期間、憧れの地で、知らなかった世界を知ったり、議論好きな現地の友達と意見を交わすことで、自身について考えたり、楽しいこと嬉しいこと困難なこと悔しいこと等様々な経験をしました。その経験から、考え踏み出す力やどのような状況でも楽しむ力を身に付けることができました。語学力や教養は日本にいても身に付ける事はできますが、このような経験や学びは、異文化に「浸かる」ことでしか味わうことのできない、貴重なものです。

こんなにも濃く、かけがえのないものを得ることができたのは、みなさんの支援があったからです。本当にありがとうございました。この先もまだまだ学び、自身を磨いてステップアップしていきたいと思えます。



島根大学支援基金だより

Vol.2

2018 Apr.



人とともに 地域とともに
国立大学法人 島根大学

支援学生の声

総理工学部 佐々木 守

私は平成28年8月から平成29年5月までの9ヵ月間、皆さんの寄附金の中から奨学金という形で支援を頂き、アメリカ・フロリダ州フロリダ大学へ交換留学をさせて頂きました。この留学という機会に、私は自分の専攻から一度離れコミュニケーションという分野を学びました。日本の大学で受ける授業とは毛色が違い、少数クラスで議論を中心に進行していくような授業やグループプレゼンテーションを頻繁に課される授業などとても新鮮な環境で勉学に励むことが出来ました。それまで過ごして来たものと違う環境の中で、母国語ではない言語を使って一年間をやり遂げたという経験は間違いなく私の人生の糧となります。皆さんのご支援に心から感謝します。



寄附者様からのメッセージ

森鷗外が逝去した年(大正11年)、松江市に生まれた私は附属幼稚園、小学校で8年間教えを頂きました。そして私の兄弟姉妹8名、私の娘4名は師範学校、附幼、附小、附中で8年間、また11年間、教育をしていただきました。母も千鳥城下にあった幼小を卒業しています。

私は松江商業学校(現・松江商業高校)を卒業、大分高等商業学校(現・大分大学)に進学するも、繰り上げ卒業で現役入営しました。中国中東部の最前線で従事した際の死への覚悟などが基となって、私の心の礎となっています。無事に復員し、父母に元気な姿を見せることができました。

年を経て、附小、附中でPTA会長など役員を7年間務めました。その間も諸先生方の師としての御言行に感服いたしました。私の人として力を頂いた附幼、附小、附中で、学長様はじめ諸先生の師としてのお姿に接し、私の人間の力を頂いた事、またロータリークラブでのご交誼を賜り、御礼の申し上げようもありません。

96歳の今、誤りのない人生を送らせていただいで感謝しています。

米田酒造株式会社 前会長 米田 盛造氏



文学、哲学、歴史学など心を豊かにする学問の研究活動を応援できれば嬉しいです。(卒業生)

子どもが島根大学に入学するまで島根とのご縁はありませんでしたが、今では大事な故郷のような場になりました。子どもは大学での専門を十分に生かす仕事を得、働いております。青春の4年間を充分お謳歌でき感謝です。(保護者)

松江出身なので松江のすばらしい町を大切に思います。小泉八雲を中心に八雲の心を伝える大学にもなっていきたいです。今後益々のご発展をお祈りいたします。(一般)